

〔様式1〕

福井大学 STELLA プログラム

第2期生応募申請書

ふりがな 氏名	(男・女)		
生年月日	西暦	年	月 日 (歳)
学校名	学校	学年	年
住所	(〒 - )		
ふりがな 保護者氏名			
電話番号 (保護者)	(携帯 )		
メールアドレス	.....@..... (本人・保護者) .....@..... (本人・保護者) (添付ファイルを含むメールを受け取れるアドレスを記入してください。本人、保護者どちらのアドレスかわかるように○をつけてください)		
福井大学への交通手段	あてはまるもの○で囲んで下さい ・保護者の送迎 (自家用車等) ・公共交通機関 (電車・バス) ・徒歩や自転車		
備考			

- ※ ご記入いただきました個人情報本事業の目的以外には使用致しません。
- ※ 本事業中に撮影した写真・映像などをホームページや広報などに使用することがあります。
- ※ 本事業は、JST からの支援を受けて実施される研究開発事業です。そのため、申込者の資質・能力及び受講修了後の進路や本事業の影響等について調査を実施します。また、受講生が書いた作文を報告書・HP 等に掲載する場合があります。受講された方は、調査への協力、アンケートや作文の報告書・HP 等への掲載に同意されたものとみなします。
- ※ 中学3年生 (義務教育学校9年生, 中等教育学校3年生) は、第一段階プログラムまでの受講で終了になります。
- ※ その他事務局の配慮が必要な事がありましたら、備考欄に記入してください。

本プログラムの内容に同意し、参加することを承諾いたします

令和 年 月 日

保護者氏名

印

〔様式2〕

## 福井大学STELLAプログラム

## 第2期生志願理由書 (本人自筆)

ふりがな 氏名			
学校名		学年	年生

### 1. 個人や学校でこれまでにやったことのある探究的活動（自由研究・調べ学習など）の内容

- ・自由研究など自主的にやったものがあれば、最大4つまで書いてください。
- ・特にない場合は、学校の授業の中でやった探究活動や調べ学習を書いてください。個人でやったことがない場合は、グループでやったことでもかまいません。
- ・課題研究コンテスト等への出展・入選実績がある場合には、その点についても書いて下さい。

何年生のとき	探究的課題のテーマまたはやった内容	コンテスト等の名前 順位や受けた賞の名前 (○○賞) ※1

※1) 福井県の例では「私たちの理科研究」など。各出身地で実施されているコンテスト等も記載可能。

### 2. 個人や学校で訪れたことがある科学館や博物館、科学や技術をテーマとした企画展等の内容

- ・家族や友達などで行ったことがあるところや学校の校外学習や遠足で行ったものを最大4つまで書いてください。
- ・小さな敷設や図書館、公民館、ショッピングモールなどで開催した小さな展示でもかまいません。

何年生のとき	訪問先・企画展名等	どんなことを学んだか	訪問形式※2

※2 「個人で（家族と）」「校外学習」「遠足」など



# 志願理由書の記入要領

## 1. 全体的な注意事項

- 志願理由書は、1枚目と2枚目に記入して、応募申請書〔様式1〕といっしょに次の送り先に郵送してください。

〒910-0085 福井市文京3-9-1 福井大学 教育学部 STELLAプログラム事務局

- 志願理由書のページ数や書き込むところの幅は変えないでください。本人が手書きするようにしてください。

## 2. それぞれの項目の書き方の注意

- 「1. 個人や学校でこれまでにやったことのある探究的活動（自由研究・調べ学習など）の内容」には、これまでにやったことのある自由研究（なければ調べ学習などの探究的取り組み）の中からよいと思うものを4つまで書いて下さい。その課題を学生科学賞などの審査会に応募している場合や応募して入賞した場合は、そのことも書いて下さい。どんな小さなコンテストでも応募したことがあれば書いてください。
- 「2. 個人や学校で訪れたことがある科学館や博物館、科学や技術をテーマとした企画展等の内容」には、これまでの訪問や学習経験の中から代表的なものを、4つまで書いて下さい。どんな小さな展示でもかまいません。書けるものを書いてください。
- 「3. ふくい理数グランプリなどの理数系及び技術・工学系の科学コンテストへの参加状況」には、出場したものを書いてください。たくさん出場した人は、代表的なものを3つまで選んで記入して下さい。市や町の中、学校内など、どんなコンテストでもかまいません。無い場合は書かなくてもかまいません。
- 「4. これまでに行った探究的課題（自由研究・調べ学習など）の中から1点（1つ）を選べ、どのような内容で、どのような結論がえられたのかをできるだけ簡単に、他の人にわかるように書いてください」には、実際にやったことをその内容を知らない同級生が読んでわかるように書いてください。
- 「5. 今一番興味を持っていることや、福井大学STELLAプログラムに参加してやってみたいことを書いてください」には、未来の科学者を目指す皆さんの意気込みや不思議に思っていることでわかるようになりたいことなどを、自由に書いてください。実際に、研究したい分野がある場合は、ここに書いてください。
- 「6. 参加後、研究したい分野は何ですか」には、実際に研究してみたい分野を1～2つ選んで書いてください。ない場合はその他に書いてください。

福井大学STELLAプログラム  
ふくい先端領域で学ぶ人財協育プログラム  
第 2 期生募集要項

募集人数	40名
募集対象	次の条件をすべて満たす方 ・小学校 5・6 年生および中学生（義務教育学校5年生～9年生，中等教育学校の1年生～3年生） ・科学／技術／工学／学芸／数学（STEAM）についての学習と探究に興味と関心を持つ方 ・月2回程度，福井大学文京キャンパスに通える方 ※本企画は2年間にわたる，第一段階と第二段階の二つのステップから構成されています。中学3年生は，1年目の第一段階プログラムのみ受講できます。
費用	無料 ・宿泊を伴う合宿形式の企画では，宿泊代や食費，連携機関による実習等で必要な教材費が自己負担となる場合があります。 ・会場までのリモート授業などに関わるパソコン・タブレットやインターネット関係の費用，会場までの交通費，食事代などは自己負担となります。
募集期間	令和7年3月下旬～ 令和7年 6月2日（月）必着 * 応募状況によっては追加募集することもあります。 詳しくは，ホームページをご覧ください。 <a href="https://stella-fukui.net">https://stella-fukui.net</a>
応募方法	WEB エントリーを完了し，応募書類（応募申請書〔様式 1〕と志願理由書〔様式 2〕）に必要事項を記入して，下記の応募書類送付先に郵送でお送りください。 応募書類については，次のサイトからダウンロードできます。 <a href="https://stella-fukui.net">https://stella-fukui.net</a> （エントリー・ダウンロードが困難な場合は下記の連絡先にご連絡ください）
選考方法	書類選考（提出された応募書類に基づいて，受講者の選抜を行います） 令和7年6月下旬までに応募者全員にメールおよび書面で結果を通知します。

**【応募書類送付先・問い合わせ先】**

福井大学 STELLA プログラム事務局  
(福井大学教育学部内)

〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1

TEL: TEL: 0776-27-9771

E-mail: [stella@ml.u-fukui.ac.jp](mailto:stella@ml.u-fukui.ac.jp)



## 1. ふくいSTELLAプログラム

将来のことを考えるには、いろいろな見方・考え方で進めていく必要があります。自然現象の原理を調べる科学（Science）、日常生活を支える技術（Technology）、科学・技術を利用して社会的課題を解決する工学（Engineering）、社会をデザイン思考で創作する学芸（Liberal Arts）、科学・技術・工学を定量的に扱う数学（Mathematics）の5つを統合した見方・考え方「STEAM (stí:m)」が、これからの世の中を創っていく人たちを育てるために大事とされています。

本プログラムでは、STEAMの見方・考え方を活かして、様々な探究活動ができるような力をつけることを目標に、さまざまな興味をもった小中学生が集まり、それぞれ興味あることを探究するとともに、情報交換することで立場の違う人たちが協力し合って将来の世の中をともに創り（協創）、ともに育てあげていく（協育）力をつけるきっかけ作りをする場を提供します。

具体的には、小学校5・6年生および中学生（義務教育学校5年生以上、中等教育学校1～3年生）を対象とし、2年間にわたる二つのステップから構成されています。1年目の第一段階プログラム「ふくいチャレンジマスター養成コース」では、講義・演習・実験・グループによる活動等を通じて、科学者として必要な基礎的能力を育成します。福井県の魅力ある教育資源や人的資源、先端技術を含む産業などの地域の資産を題材に、地域の自然や科学技術、社会事象を多角な視点から捉える力の伸長を目指していきます。この1年目の学びの履歴に基づいて選抜された約13名が2年目のプログラムを受講することができます。中学3年生は、1年目の第一段階プログラムのみ受講することができます。2年目の第二段階プログラム「ふくいチャレンジドクター養成コース」では、大学等の研究室で研究者からの指導を受けて課題研究を行い、学会発表や科学コンテスト等に挑戦します。知的好奇心にあふれる広い視野の下で主体的に研究に取り組み、身につけた力を未来のふるさとにフィードバックしようとする、地域を指向した志をもつ人材の育成を目指していきます。

本プログラムでは、福井大学教育学部を中心に、県内の各教育機関や博物館等の科学学習関連施設などが連携して、「ふくい先端領域で学ぶ人財協育プログラム—ふるさとの地域理解から探究力を育む—」（通称「ふくいSTELLAプログラム」）を実施します。

## 2. 今年度のスケジュールの概要

今回は、第一段階プログラムの第1期生の募集を行います。

■募集期間 令和7年3月下旬～ 令和6月2日（月）必着

■第一段階プログラムの実施期間 令和7年7月～令和8年3月

・令和7年7月20日（日）開講式・オリエンテーション、第1回講座スタート

・月に2回程度の頻度で、土曜日または日曜日に、理科、算数・数学、工学・技術、芸術・人文社会科学に関する講義や実習、科学に関連する分野の講演、野外実習、企業見学等を実施

・令和8年3月8日（日）（予定）修了式・成果発表会

※各講座の開講スケジュールと概要については、ホームページをご覧ください。

## 3. 受講に際しての注意事項

- ・第一段階プログラムを修了するためには、開講されている講座の中から、定められた回数以上（目安として10講座以上）の講座を受講する必要があります。詳しくはオリエンテーションの際に説明します。
- ・講座等の実施機関（主に福井大学文京キャンパス）までの交通費や受講に関わるインターネットなどに必要や費用は自己負担となります。野外実習や企業見学等の場合には、大学に集合して借り上げバスでの移動となる場合もあります。この場合の借り上げバス代は実施機関が負担するため不要です。
- ・受講に際して傷害保険に加入して頂きますが、傷害保険料は実施機関が負担します。